

**令和 7 年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザル選定委員会
議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 3 月 27 日（木） 9 時 30 分から 11 時 30 分まで
2	場 所	オンライン会議
3	出席委員	・ 環境県民局学事課長（委員長） ・ 会計管理部審査指導課長 ・ 環境県民局環境県民総務課長 ・ 環境県民局文化芸術課長（代理） ・ 教育委員会事務局学びの変革推進部教育支援推進課長
4	議 題	令和 7 年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザルに係る 最優秀提案者の選定
5	担当部署	環境県民局学事課
6	開催方法	① 参集（オンライン会議） 2 持ち回り
7	議事内容	1 審査方法 提案者から提出された提案書、提案書に係るプレゼンテーション及びヒアリングの内容を基に、提案書評価基準に従い審査を行った。 2 審査結果 (1) 審査対象者（提案書受理順） ア アデコ株式会社 OSセールス西日本支社（A者） イ 株式会社パソナ パソナ・広島（B者） (2) 審査対象者の評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 最優秀提案者及び選定理由 ア 最優秀提案者 株式会社パソナ パソナ・広島（B者） イ 選定理由 各選定委員による採点結果の合計点が最も高かったため。 3 質疑応答 (1) A者（アデコ株式会社 OSセールス西日本支社） 委員 従事者の教育状況についての評価水準に「未実施」とあるが、教育を実施していない従事者が業務に従事することがあるのか。 A者 水準として設けているだけで、原則そのようなことはない。

		委員 業務品質を保つために、具体的にどのような取り組みを行うのか。 A者 従事者1人・1日単位で処理件数を管理し、実現可能な作業スケジュールを組み納期を遵守する、処理について差戻がないようチェックリストを用いる等の取り組みを行う。 委員 ミスの未然防止の取り組みを具体的にお伺いしたい。また、例えば、業務適性がないと思われる責任者・従事者がいた場合の対応はどうするのか。 A者 社内の支援部門により、想定されうるリスクを可視化し、管理する。また、適性がない者がいた場合は、早期教育に取り組む。前提として、適性がない者を配置することはないが、万が一そのような者がいた場合は交代も検討する。 (2) B者（株式会社パソナ パソナ・広島） 委員 人員配置について、10月頃から従事者数が減るようだが、遅滞なく業務を行うことができるのか。 B者 人員配置は、類似業務の実施結果を基に算出しており、問題なく業務を執行できると考えているが、実際に業務を実施して不足があれば人員を追加する。この場合、契約金額の範囲内で措置するため、増額はない。 委員 例えば、発注者側から責任者・従事者として相応しくない者がいると申し入れた場合、人員の交代は柔軟に対応していただけるのか。 B者 自治体業務に従事した実績のあるものを優先的に配置する等、業務執行に資する人選を行うという前提で、万が一発注者側からそのような申し入れがあった場合は、早期の交代も視野に入れて柔軟に対応する。
--	--	---